

育てたい考える力は

確かな学力づくりのために必要な「学ぶ力」には問題解決に必要な思考力・判断力・技能・表現力・学び方が含まれています。それらの中でも本校が算数科においてまずつけたい力は「考える力と学び方」です。なぜならば、実態に見られるように、本校児童は文章問題を苦手とする傾向が強いからです。

求める数学的な考え方は

算数科における考える力を大きく、**ア 内容についての数学的な考え方**と、**イ 考えを進めるための数学的な考え方**の2つと捉えます。本校が育てたい力として、**ア**の力を大切にしながら**イ**の考えを進めるための数学的な考え方を取り上げます。**イ**の、特に筋道立てて考えることは見通しをもったり、物事を判断したり、推論を進めたりするときの大切な考え方であり、算数科に限らず児童が生かすことのできる力です。また自分の考えを説明するとき、考えを筋道立てておくことにより、わかりやすい説明が可能になるなど、問題解決場面以外にも活かすことができます。この筋道の指標を示し、児童の身につくことをめざしました。

「考える力」の明確化

具体的に、問題を解決するには次の力を必要とします。

- 1 問題の意味を理解する
- 2 答えや解き方の見通しをもつ
- 3 手がかりを生かして自ら考えを進める
- 4 自分の考えをわかりやすく伝える
- 5 友だちの考えのよさに気づく
- 6 わかったことを自分の言葉でまとめる

